

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

調査対象：2年生

調査事項

ア 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、
立ち幅とび、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査（運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査）

1 結果と分析

- 男女ともに、特に立ち幅跳びのすばやく動き出す能力が優れている。
- 男子は、上体起こしの大きな力を出す能力と筋力を持続する能力に課題がある。
- 女子は、ハンドボール投げの運動を調節する能力とすばやく動き出す能力に課題がある。

2 取組についての評価

(1) 保健体育科の学習指導

①効果があった取組

- ・ 体育学習での、毎時間5分程度の体づくり運動の実施
- ・ タブレットを活用し、自分の動きと見本の動きを確認する活動の設定
- ・ できるようになったことや気付いたことなどを振り返り、次回の目標を設定する時間の確保

②改善を図る点

- ・ 今回課題となった、巧緻性や筋力、筋持久力を高める運動を中心に、体育分野での準備運動を通して継続して行う。
- ・ タブレットやICTを積極的に活用し、自己だけでなく他者の動きにも注目し、互いに教え合う活動を設定する。

(2) 今後の体力向上に対する取組

- ・ 体力テストを年間で6月と2月頃の計2回実施し、1年間を通してどのくらい体力がついたのかを比較できるようにする。
- ・ 日常的に運動に取り組む姿勢を継続できる、体育館や校庭での場の設定を行う。